

“鴨川探検！再発見！”見聞録  
 ～第35弾「春の鴨川ウォーク 水辺の自然観察会」の巻～

“鴨川”の魅力を再発見し、川への理解を深め、治水や防災、河川愛護、自然環境保全への関心を広げるために企画しました“鴨川探検！再発見！”のシリーズ第35弾「春の鴨川ウォーク 水辺の自然観察会」を開催しました。

晴天の下、小学生の親子31名が、ペットボトルで作ったセルビン(魚を捕まえる用具)をしかけたあと、植物、昆虫、野鳥などを観察しながら、鴨川の河川敷を散策しました。残念ながら魚を捕まえることはできませんでしたが、昆虫を見つけたり、たんぽぽの花びらを数えるなど、自然の中の遊びを親子がふれあいながら体験できました。



●自然観察会(北山大橋周辺)



みんなでセルビンをつくったよ



エサとおもりの石を入れたよ



どこにしかけようかな



さあ、散策開始！！

ハグロハバチの幼虫



ナミアゲハ



ヨコツナサシガメ

ポンツ！



ヤマブキの茎テッポウ

●まとめ



たんぽぽの花びらは何枚？



虫こぶを観察したよ



魚入っているかな



見たものを復習したよ

■ 日 時 平成26年5月11日 日曜日 午前10時から12時まで(天候 晴れ)

■ 場 所 鴨川北山大橋周辺

■ 参加者 子ども(小学生)18名、保護者13名の計31名

[講師:NPO自然観察指導員京都連絡会]

